

適財適所

半田市の家計簿（平成26年度決算）

（限りある財源を適する所へ）

平成26年度（昨年度）の決算状況

「一般会計」の決算状況

●実質収支 11億5,606万円の黒字

●歳入総額 442億269万円

◇法人市民税が17.9%の増加

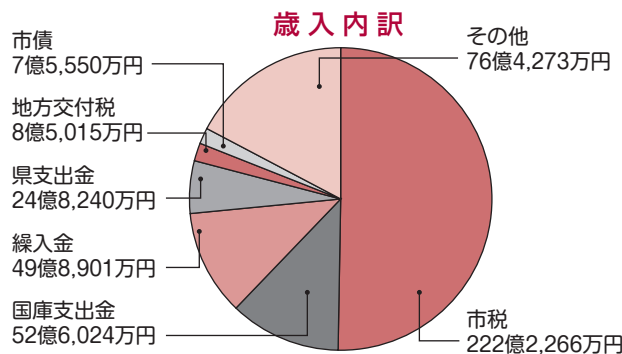
市民税が3億5,201万円（3.8%）の増加であり、このうち法人市民税が自動車産業を始めとした製造業の好業績により3億3,932万円（17.9%）の増加となりました。また、繰入金が新庁舎建設基金繰入金の増により37億254万円（287.8%）の増となりました。

●歳出総額 426億730万円

◇総務費が79.4%の増加

半田赤レンガ建物整備事業費、新庁舎建設事業費などにより総務費が45億7,059万円（79.4%）増加となりました。一方、公債費は高金利時代に借り入れた地方債の償還が進むとともに地方債残高そのものも減少したことにより1億6,730万円（7.1%）の減となりました。

歳入総額 442億269万円



歳出総額を市民一人当たり
に換算すると35万8,995円に
なります。

※【 】内の金額は平成26年度末の
住民基本台帳人口（118,685人）
で割った市民一人当たりの支出額
です。

歳出総額 426億730万円

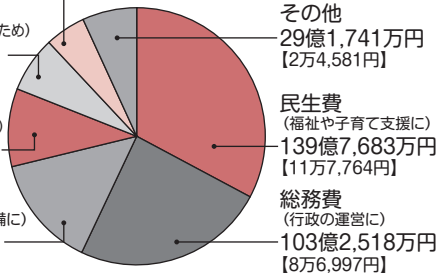
公債費
（借入金の返済に）
21億8,208万円
[1万8,385円]

衛生費
（ごみ処理や健康管理のため）
29億9,046万円
[2万5,197円]

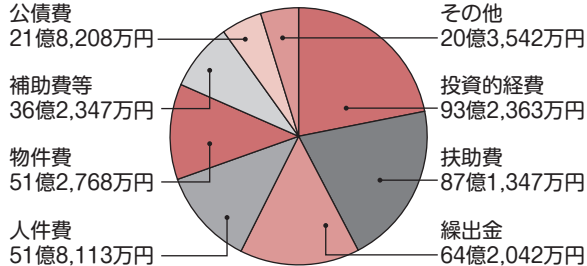
教育費
（学校整備や教育振興に）
41億8,153万円
[3万5,232円]

土木費
（道路や橋の維持・整備に）
60億3,381万円
[5万839円]

目的別内訳



性質別内訳



平成26年度特別会計決算

区 分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	111億2,913万円	105億7,229万円
介護保険事業	71億6,614万円	69億9,757万円
下水道事業	45億8,614万円	45億8,572万円
後期高齢者医療事業	11億5,355万円	11億5,141万円
知多半田駅前土地区画整理事業	6億8,143万円	6億8,139万円
乙川中部土地区画整理事業	6億6,529万円	6億6,441万円
学校給食	5億 273万円	4億9,088万円
中小企業従業員退職金等福祉共済事業	1億4,308万円	1億4,308万円
駐車場事業	3,188万円	3,188万円
黒石墓地事業	1,640万円	1,640万円
モーターボート競走事業	753万円	753万円
合 計	260億8,330万円	253億4,256万円

「特別会計」の決算状況

●歳入総額 260億8,330万円

●歳出総額 253億4,256万円

最も規模の大きな国民健康保険事業特別会計では、5億5,684万円の黒字、介護保険事業特別会計でも1億6,857万円の黒字となりました。他の特別会計もそれぞれ黒字収支となりました。

【問合わせ】財政課

☎84-0617